

栗老連だより

発行年月日／平成30年9月1日
 発行／栗山町老人クラブ連合会
 総務・研修部会
 事務局／栗山町社会福祉協議会内
 電話／72-1322

栗老連定期総会において平成三十年度 事業計画及び予算案と新役員を承認

四月十八日、会員六十三名の出席のもと、総合福祉センター「しゃるる」において定期総会が開催され前年度の事業・決算報告並びに今年度の事業計画並びに予算案が承認されました。

今年度の事業運営に対し、各单位クラブのご理解、ご協力を賜われますようお願い申し上げます。

平成三十年度事業計画

- ・高齢者健康予防事業（認知症対策・カフェの運営協力）
- ・世代交流事業（元気づくりモデル事業）

栗老連役員紹介（平成30年度）

会長	吉新	田谷	輝信	雄典	(中里長寿会)
副会長	太田	谷田	信欣	典仁	(南長生会)
常任理事	中山	井田	礼正	仁子	(緑町新生クラブ)
〃	高山	田崎	宏敏	子敏	(寺町ダリア会)
〃	高田	崎宏	志之	志之	(睦クラブ)
〃	青木	芳夫	富夫	夫夫	(五区鶴令会)
〃	清水	和夫	一郎	一郎	(ひまわりクラブ)
〃	西川	波一	潔博	操操	(鳩山長寿会)
〃	難波	島丸	山直	千代	(旭台長寿会)
〃	渡島	丸沼	山野	田庄	(継立百年クラブ)
〃	長池	伝柳	多美	夫夫	(日出長生クラブ)
〃	伝柳	多美	夫夫	夫夫	(ひまわりクラブ)
〃	伝柳	多美	夫夫	夫夫	(鳩山長寿会)
〃	伝柳	多美	夫夫	夫夫	(杵臼喜楽会)
〃	伝柳	多美	夫夫	夫夫	(松涛会)
〃	伝柳	多美	夫夫	夫夫	(湯地えびす会)
〃	伝柳	多美	夫夫	夫夫	(角田白寿クラブ)
〃	伝柳	多美	夫夫	夫夫	(南長生会)
〃	伝柳	多美	夫夫	夫夫	(南長生会)

単位役員懇談会

六月二十八日、平成二十八年より実施している懇談会を、今年度も、総合福祉センター「しゃるる」で開催いたしました。

各部会の今年度の具体的な事業計画を説明。

その後は、平成三十年度単位老人クラブ補助金の申請についての説明を行いました。参加の会員からは、忌憚のない多くのご意見・ご質問をいただき、今後の連合会運営について多くの課題もいただきました。

第十七回親睦パークゴルフ大会

六月十五日、健康と親睦を目的に九十二名が参加、天候にも恵まれ気温も上々の中、栗山町健康づくり推進協議会の協力により給水を受けながら、仲間とともに日頃の練習成果を発揮していました。

【結果】

- 優勝 宮本良一さん 池田悦子さん
- 二位 沼山一夫さん 森政枝さん
- 三位 福永隆治さん 高田英子さん

世代交流事業

児童センターを利用する子ども達と各单位老人クラブが世代交流を目的に六月二十日児童センターで老人クラブ（緑町新生クラブ、寺町ダリア会、南長生会、ひまわりクラブ、錦クラブ、ニュースワンくらぶ、朝日さくら会、中里長寿会）の会員十五名が参加。

今回は新たに町内にある（株）北海道きのこ生産総合研修所のベトナムからの海外実習生九名も参加され、児童センターの子どもの達のおやつにのり巻きを老人クラブと海外実習生で作った子ども達と一緒に食べました。

また、海外実習生よりベトナムの春巻きが振る舞われ、食べた後、子ども達から、一輪車や竹馬、お手玉など昔遊びの披露があり、最後に、のり巻きや春巻きのお礼に、



- 四位 新屋清一さん 森禮子さん
- 五位 渡辺忠春さん 北山久恵さん

第十六回空知地区老人クラブ連合会パークゴルフ大会

七月十一日、奈井江町寿公園パークゴルフ場で管内十四町、男女百十二名の代表選手が集結。三十六ホールを、日頃の練習成果を発揮し各選手は頑張っていました。



- 栗山町代表選手 (男性) 宮本良一さん 池田悦子さん
- (女性)

手作りのプレゼントが一人一人に渡され、楽しいひと時を過ごしました。

女性研修会

八月一日、総合福祉センター「しゃるる」において参加者四十一名が、「ふまねつとで楽しく転ばない体づくり」と題し、NPO法人ふまねつと由仁町支部「ふまねつとゆに」会長 小仲 弘康氏はじめインストラクター六名を招き、ふまねつと運動について講演後、体験をしました。

最初は初めての経験から緊張していましたが、インストラクターの優しい対応に笑顔が始め、最後は大笑いをしながら楽しい一時を過ごしました。



沼山 一夫さん 森 政枝さん
 福永 隆治さん 森 禮子さん
 新屋 清一さん 北山 久恵さん
 大会の結果は団体戦で準優勝と好成績を収める事ができました。

選手の皆様、本当にお疲れ様でした。

**単位老人クラブ役員並びに
会員・連合会役員研修視察**



七月十八、十九日、会員の親睦と研修を目的に会員二十

わがクラブ紹介

五区鶴令会

会長 高崎 宏志

クラブ名の鶴令会と言う名称は長寿の象徴と言われる鶴に因んで命名されております。

鶴令会員は、町内中央地区で消防署付近に住んでいる六十歳以上の方々です。

先人が昭和五十一年に築き上げ発足し、私が引き継いで歴代八人目となり、会員数は多い時で四十六名程でしたが、現在の加入会員は二十五名に減少し今後も

四名の参加により実施されました。

本年度は、伊達市・洞爺湖町・室蘭市方面を研修視察してきました。

一日目は、輪厚PAを見学、伊達市内で昼食をとり、パークゴルフで汗を流したり、藍染め体験をしたり、それぞれ楽しみました。

宴会時には皆さんでレクリエーションを行い大変盛り上がりしました。

二日目は、JXTGエネルギー(株)室蘭製造所を見学。

職員の説明を聞き、製造所の大きさに驚きながら、皆さん熱心に耳を傾けていました。その後、苫小牧市を経由し無事に帰町しました。

参加された皆さん、大変お疲れさまでした

新規会員の加入者が望めない事で心配しております。

主な行事としては、町内会の総会(一月)、お楽しみ会として栗山町近郊の日帰り温泉入浴(六月)、秋の旅行(九月)、年数回のパークゴルフ等を実施しております。

これからは、体力の維持、脳の活性化として誰にでも気軽に出来るパークゴルフに力を入れ、認知症予防にもなる健康マージャンにも取り組んでいきたいと思っております。

会員一同健康で元気に楽しく一日でも長生き出来るようみなさんと助け合いな

ペットボトルキャップ等選別



五月二十二日、総合福祉センター「しゃるる」において、清涼飲料水等のペットボトルキャップ等の選別作業が行われました。

今回新たに町内にある株式会社山生産工場のベトナムからの

海外実習生と一緒に、ペットボトルキャップとアルミ缶のプルタブの選別作業を行い、最後に実習生がベトナムの民族衣装アオザイを披露してくれました。

ペットボトルキャップは町外の回収業者へ搬入し、収益金が町内の子ども達の活動等に還元され、アルミ缶のプルタブは、町内旭台の工業団地にあるヘンケルエイブルステイツクジャパン北海道工場で受け入れをしてもらい、後に回収量に応じて車椅子と交換されます。



**ペットボトルキャップ収集活動で
栗山小学校にトランプを贈呈**

六月十四日、ペットボトルキャップ収集活動で、栗山小学校にトランプ百個が吉田会長より贈呈(第一回目)されました。



贈呈に先立ち、栗山小学校児童会では、全校児童の要望を取りまとめるアンケート調査をおこない、冬期間に遊ぶトランプと決定されました。

※ペットボトルキャップ収集活動
平成二十年五月から活動が始まり、関係機関の協力を得て、収集ボックスを設置いただいております。

集まったキャップを老人クラブ連合会・ボランティア連絡協議会・介護学校・栗山高校・栗山中学校の生徒と協力して、異物を選別します。

その後、町内事業所の運搬協力により、苫小牧市にあるプラスチック製品の買取り業者の日揮通商(株)苫小牧工場へ届け、換金されたお金を活用し町内の子ども達の活動等に還元する事業です。

収集活動には、町内の方はもとより、栗山小・中・高校・介護福祉学校や町内会・企業さんなどたくさんの方に協力いただいております。

**くりやま夏まつり
郷土おどりに参加**

七月二十一日、天候に恵まれ会員約二十九名が参加し、明るく住みよいふるさとづくりに思いを込め、今年「栗山音頭」をおどりました。



**交通安全街頭啓発
「イエロー作戦」**



七月十三日「夏の交通安全運動」にあわせて、会員約六十九名は、交通事故撲滅の願いをこめて栗山公園前の国道二三四号線を通るドライバードアに黄色の旗で「シートベルトの着用とスピードダウン」を呼びかける予定でしたが、悪天候の為、中止となりました。

あともがき

町内会・自治会をはじめ関係団体、関係者のご指導とご支援により先人達が築き上げてきた栗老連が来年で五十年を迎えようとしております。

この間、栗山町の人口も最盛期二万人強から今は半分の一万一千人となり、少子高齢化は今後一層深刻な状況になるものと思っております。

こうしたなかで栗老連の抱える課題として、会員組織の減少に伴い会員が増えない状況にあります。

高齢化社会が急速に進む中で会員を増やし、多くの仲間と連携して健康・友愛・奉仕の活動を若い世代と共存しながら栗山町民として、より豊かな安らぎや潤いのある地域社会づくりに努めて参りたいと思っております。

総務・研修部会